

子育て情報 3月号

平成31年 3月
椋山女学園大学附属幼稚園



飛び立つ春がやってきましたね

園長 山中文

2月になってほころびはじめた梅が、もう風に舞うようになりました。梅の木の高い枝先を見上げていた子どもたちも、地面に広がる花びらと遊ぶようになっていきます。一雨ごとに、日差しもかわってくるでしょう。あれよあれよと春めくこの時季は、子どもたちの次のステージをめぐる、1年の中でも特別な感じがする時季です。

年長さんは、もうすぐ卒園ですね。おめでとうございます。保護者の方々もそれぞれ、この幼児期のお子様の大きな成長をふりかえっておられることでしょう。

年長さんは、小学校にあがると、最年少の第1学年になります。幼児期の最年長としていろいろな場面でリーダー役を担っていたのに、小学校ではいきなり「まだ何もわからない子ども」としてみなされることもあります。最近では、そのような子ども観や指導観のギャップをなくそうと、保幼小接続カリキュラム等がとられるようになってきました。これは、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムからなります。アプローチカリキュラムは、年長期に、小学校の学習に生きる幼児期の活動を遊びの中に組みこんでいこうとするものです。スタートカリキュラムは、就学後に、幼児期の活動内容や方法を考慮しながら、教科の学習にスムーズに適應していくように授業や活動を組み込んでいこうとするものです。さらに、園児や児童が相互に交流したり、幼稚園教諭と小学校教諭がそれぞれ参観しあって指導方法や子どもの育ちの連続性を確認しあったりすることも多くなってきています。

それでもなお、就学後、子どもたちは、環境の違い、視線の違いにとまどうことでしょう。さあ、そんな時は、ご家族のみなさまの出番です。幼稚園時代のリーダーシップをとっていた年長さんらしさを思い起こしていただき、「あれができない、これができない」と叱咤するのではなく、緊張している子どもたちの誇りを取り戻してあげてください。

年中さん、年少さんも、いろいろな成長が見られるはずですよ。幼稚園では、4月には涙と鼻水だらけだった年少さんが、今では会話しながら穏やかに食事をしています。晴れた日は毎日外遊びでいろいろな発見をし、また折り紙や切り紙にも夢中になったり、お話ごっこを遊びの中でもくりかえしみんなで楽しんだりしています。年中さんといえば、先日、年中さんの男児二人が、降園時に流行りの曲のダンスを見せてくれました。相互に見合いながら、前奏からはじめ、サビのしっかり歌える部分はもちろんのこと、歌詞がよくわからない部分も「ふふんふんふん」で歌いきり、最後のポーズまで揃えていました。このように、記憶を頼りに、さらに相手をよく見て自らフリをつくっていくなどというのは、さすが年中さんの成長ぶりです。

幼稚園では、飛び立つ年長さんに教職員一同精一杯のエールを送りながら、また、次の学年にはさらなる成長を期待して、それぞれの準備を整えています。ご家庭でも、ぜひ、新しい1年のはじまりを楽しんでください。

